

理念:ともに認め合い、話し合い、支え合いながら 暮らすことができるまち 東村山

東村山市地域福祉計画策定委員会 第2回(H23.8.30) 資料2-2

障害者福祉計画			主な取り組み(事業名称等)	これまでの取り組み状況と進捗状況	評価(主な取り組み/展開方向からの成果)	備考
健塚刊	例益 表	姑例益				
1 みんなで支え・参加する東村山の福祉	(1)障害者に対する理解の促進(心のバリアフリーの促進)	広報・啓発活動の充実	福祉のつどい・ヘルプカード	障害者週間「福祉のつどい」の実施(平成22年12月3日から5日)。 「ヘルプカード」、「ヘルプ手帳」の作成・普及。(平成19年9月より配布を開始)周知活動としていきいきプラザ1階にてパネル展示2回 東村山あんしんネットワーク会議の開催	主な取り組み状況から判断すると評価できる。	
		福祉教育の充実	特別支援教育推進計画	特別支援教育運営委員会啓発部会による、啓発授業の実施。 特別支援学校在籍児童・生徒の実施。 人権教育の実施	子どもの頃から障害のある人に対する理解と認識を深める体験活動であるため評価できる。	
		地域での交流と生涯学習を通じた理解の促進	市民運動会・産業まつり・市民福祉カレッジ	市民大運動会に「ふれあいのまち」として参加。市民産業まつりに福祉関係団体による展示・販売。 社会福祉協議会による市民福祉カレッジの開催。	主な取り組み状況から判断すると評価できる。	
	(2)バリアフリーのまちづくり	バリアフリーの促進	エレベータ・障害者対応型トイレ設置	○久米川駅北口にエレベーター、誘導ブロック、だれでもトイレ等を設置。 ○新秋津駅にエレベーター設置。 東京都福祉のまちづくり条例に基づいた指導等を行う。 武蔵大和駅にエレベータ設置 公民館5館、図書館4館にオストメイト用トイレを設置	主な取り組み状況から判断すると評価できる。	
		移送サービスの充実	コミュニティバス・ハンディキャブ	○平成19年2月よりコミュニティバス久米川循環及び諏訪町循環がスタート 「東村山市公共交通を考える会」を設置し、コミュニティバスの今後のあり方や課題等について検討を行う。 ハンディキャブ移送サービスの実施(社会福祉協議会)	移送サービスの充実から判断すると評価できる。	
	(3)障害児教育(療育)・保育の充実	就学前教育(療育)・保育の充実	幼児訓練室ポッポ・認可保育園・児童クラブ	○第2児童クラブを3か所で開設。障害児の受け入れの充実を図った。 ○認可保育園15施設40人枠で受け入れ実施。 就学支援シートモデル事業の拡大 特別支援学校コーディネーターによる巡回相談の実施。	主な取り組み状況から判断すると評価できる。	
		学校教育の充実	特別支援教育推進計画	特別支援教育運営委員会の開催。 顧問講師の活用 特別支援学校コーディネーターによる巡回相談の実施 教員サポーター・学生ボランティアの活用 個別指導計画、個別の教育支援計画の作成 校内委員会の充実	これまでの取り組み状況から判断すると評価できる。	
		課外活動の充実	地域ディ・グループ事業・るーと	地域ディ・グループ事業、日中一時支援事業の実施。 「るーと」による「夏休み、冬休み、春休みくらぶ」、「こどもくらぶ」の実施。	事業や取り組み状況から評価できる。	

理念:ともに認め合い、話し合い、支え合いながら 暮らすことができるまち 東村山

東村山市地域福祉計画策定委員会 第2回(H23.8.30) 資料2-2

障害者福祉計画			主な取り組み(事業名称等)	これまでの取り組み状況と進捗状況	評価(主な取り組み/展開方向からの成果)	備考
健塚刊	例益 表	姑例益				
2 市民の声を聴き・ともに考える	(4)生きがいをもてるライフスタイルづくりの支援	生涯学習の充実とスポーツ・レクリエーション活動の促進	福祉のつどい	○障害者週刊「福祉のつどい」において、「障害のある人たちのアートコンクール」を開催 障害者に対する本、雑誌、点字図書、録音テープ(文学、音楽、声の市報等)、CD等の郵送、対面朗読の実施。「大きな活字の本」の貸出し。 平成22年度デージー録音図書(デジタル録音図書) ハンディキャップ・フライングディスク、ハンディキャップローンボウルズを実施(平成22年度後援)	これまでの取り組み状況から判断すると評価できる。	
		多様な社会参加の促進	ボランティアセンター・るーと	障害者週間に「福祉のつどい」の実施 るーと「テーマ別おしゃべり会」での障害者の交流。 ○るーと「グループホーム交流会」の開催 ボランティアセンターによる障害者のボランティア活動のサポート	これまでの取り組み状況的には評価できる。	
	(5)自立と社会参加を促す就労支援	雇用の促進と就労機会の拡大	障害者就労支援事業実施	平成21年11月に障害者就労支援室を市民センター1階に開設し障害者就労支援事業開始。障害者自立支援法上の就労移行支援サービスだけでなく、幅広く障害者の就労をサポートが可能となった。	これまでの取り組み状況的には評価できる。	
		市内作業所授産施設の再編	授産施設が新体系に移行	○平成23年4月時点で市内の13施設(内小規模作業所等は6施設)が障害者自立支援法の新体系に移行。 平成22年5月に新体系移行説明会を開催。	移行については段階的な取り組みであり評価できる。	
		職場参加・就労支援体制の整備	東京都障害者就労支援連絡会	平成21年11月に障害者就労支援室を市民センター1階に開設し障害者就労支援事業開始。障害者自立支援法上の就労移行支援サービスだけでなく、幅広く障害者の就労をサポートが可能となった。 東京都障害者就労支援関係機関連絡会及び多摩地区障害者就労支援事業連絡会に参加、障害者の就労支援にあたっての情報交換や事例研究を行う。	これまでの取り組み状況から判断すると評価できる。	
	(1)総合相談の充実	相談体制の推進	るーと・ふれあいの郷による相談事業	「るーと」による相談支援事業の実施。 支援第1係・第2係において高次脳機能障害者支援ネットワーク協議会連絡会に参加。 高次脳機能障害者、発達障害者の相談対応充実のため市職員の専門研修の受講。 身体・知的障害者相談員の活用による身近な相談の実施。 平成18年10月より相談支援事業及び地域活動支援センター 型事業を「ふれあいの郷」に委託 平成22年5月北多摩北部地域高次脳機能障害者支援ネットワーク協議会を結成	これまでの取り組み状況から判断すると評価できる。	
福祉サービスの利用支援		福祉サービス総合支援事業	福祉サービス総合支援事業・成年後見制度推進事業の実施。	展開方向的には検討及び推進であるため評価できる。		
障害者の特性に配慮した情報提供の充実		手話通訳者事業・要約筆記派遣事業	手話通訳者派遣事業の実施。 要約筆記者派遣事業の実施。 ○SPコードをによる通知書の発送。 平成23年2月より市のホームページの音声読み上げソフト対応可。	これまでの取り組み状況から判断すると評価できる。		

理念:ともに認め合い、話し合い、支え合いながら 暮らすことができるまち 東村山

東村山市地域福祉計画策定委員会 第2回(H23.8.30) 資料2-2

障害者福祉計画			主な取り組み(事業名称等)	これまでの取り組み状況と進捗状況	評価(主な取り組み/展開方向からの成果)	備考
健塚刊	例巻 表	姑例巻				
	(2)情報のバリアフリー化の推進	多様な情報媒体の活用推進	IT講習会事業	障害者の状況により、FAXや電子メールにおいて相談対応。 障害支援課にて購入したパソコンを中央公民館に保管し、PCサークル等に貸し出しを行っている。	これまでの取り組み状況から判断すると評価できる。	
		行政との情報交換	特別支援学校と福祉学習会事業	特別支援学校との福祉学習会の開催。 障害者団体との意見交換会。	情報共有と相互理解の促進であるため評価できる。	
3 ひともの・しくみの活用と整備	(1)ボランティアの養成と人材の活用	ボランティア等福祉人材の養成と活用	ボランティアセンターによる障害者事業	東村山ボランティアセンターにおける障害者分野でのボランティア活動の紹介。 福祉団体への助成金の支出等、住民活動支援の実施。 総合震災訓練への福祉協力員の参加等。(災害スタッフボランティア)	ボランティア養成、地域福祉人材活用の体制作りであり評価できる。	
		福祉関連人材の質的向上	事業者や市職員の各種研修事業	事業者においては、サービス管理責任者等の研修参加、市職員については、各種研修に参加。	人材の質的向上で研修会、講演会の参加支援であり評価ができる。	
	(2)施設の活用と地域の協働による地域福祉の推進	NPO等民間団体との協働	福祉団体との協働事業	○福祉団体バザーや講演会等への協力(会場確保、後援等)	主要施策はNPOとの協働で、主な取り組みから判断すると評価的にはどちらとも言えない。	
		地域施設の活用による拠点づくりと活動の場の充実	るーと・ふれあいの障害者事業	「るーと」「ふれあいの郷」における障害者の居場所確保。 社会福祉協議会による「ふれあいスペース『いっばく』」の実施。	拠点づくりと活動の充実であるため評価できる。	
		社会福祉協議会との連携強化	連携強化事業	毎月2回の定例会議を開催し、よりよい連携のあり方を検討。	連携強化事業であり評価ができる。	
	4 日常生活の中での福祉の充実	(1)地域生活を支える福祉サービスの充実	地域生活支援体制の整備	三障害一体化サービス充実整備	障害者自立支援法による三障害一体化のサービスを推進。	三障害者一体化サービス充実整備であるため評価できる。
自立を促す福祉サービスの充実			障害者自立支援法支援事業	障害者自立支援法による支援の実施。	自立を促す福祉サービスの充実であり障害者自立支援法の実施より評価できる。	
地域生活を支える施設サービスの再構築			施設サービス再構築	施設サービスの再編についての協議等の実施。(平成23年4月時点で市内の13施設(内、小規模作業所等は6施設)が障害者自立支援法の新体系に移行。	施設サービスの構築であるため評価できる。	

理念:ともに認め合い、話し合い、支え合いながら 暮らすことができるまち 東村山

東村山市地域福祉計画策定委員会 第2回(H23.8.30) 資料2-2

障害者福祉計画			主な取り組み(事業名称等)	これまでの取り組み状況と進捗状況	評価(主な取り組み/展開方向からの成果)	備考	
健塚刊	例益 表	姑例益					
		緊急時援護システムの充実	緊急通報システム	緊急通報システムの実施。 東村山あんしんネットワークの活動。	緊急情報システムの充実であり評価できる。		
	(2)地域に根ざした保健・医療サービスの充実	保健・医療体制との連携による疾病予防と健康管理	医療連携推進協議会	歯科医療連携推進協議会における障害者の口腔ケア等についての理解の促進。 ○障害児(者)及び要介護者等へのかかりつけ歯科医の紹介。 小規模作業所等利用者の健康診断費用についても、補助対象経費として運営費補助を行う。	これまでの取り組み状況から判断すると評価できる。		
5 福祉へのまちづくりの協働体制	(1)地域ネットワークの形成	地域ネットワークの推進	東村山福祉ネットワーク	東村山福祉ネットワークによる活動、支援。 東村山市精神保健福祉ケア検討会における関係機関のネットワーク構築。 居宅介護事業所交流会におけるネットワークづくり。	これまでの取り組み状況から判断すると評価できる。		
	(2)防災体制の整備	災害時要援護者対策の推進	総合震災訓練	東村山市立第2中学校での総合震災訓練実施(障害者団体、個人参加) 災害時要援護者の避難支援プラン作成にむけた検討実施。 6ヶ所の二次避難所を指定。(さやま園・東村山福祉園・コロニー東村山・経済産業省研究所・社会福祉センター・あゆみの家) 総合震災訓練で要支援者の避難誘導訓練を東京コロニーで実施	総合震災訓練から判断すると評価できる。		
	(3)総合的に展開する推進体制の整備	計画推進体制の整備	障害者福祉計画推進部会	障害者福祉計画推進部会	障害者福祉計画推進部会の開催、進捗管理。	計画推進体制の整備での部会開催であり評価できる。	
		広域連携体制の整備	高次脳機能障害者支援ネットワーク協議会	高次脳機能障害者支援ネットワーク協議会	北多摩北部地域高次脳機能障害者支援ネットワーク協議会結成に向け広域で検討、平成22年5月結成。 日本社会事業大学、白梅学園大学、日本福祉教育専門学校等及び厚生労働省からの実習生の受け入れ。	高次脳機能障害者ネットワーク協議会の整備であり評価できる。	
		サービスに対する苦情対応と評価	福祉サービス総合支援事業	福祉サービス総合支援事業の実施。	事業者の苦情対応体制の整備で第三者評価等の導入より評価できる。		